

令和5年7月10日に茨城県下妻市で発生した突風について
～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

7月10日19時20分頃、茨城県下妻市で発生した被害をもたらした突風の種別はダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高いと判断した。その強さは風速約35m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

7月10日19時20分頃、茨城県下妻市平方（ひらかた）から北大宝（きただいほう）で突風が発生し、仮設建築物の転倒などの被害がありました。

このため7月11日、水戸地方气象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高いと判断した。

（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・被害や痕跡は面的に分布していた。
- ・被害や痕跡から推定した風向に発散性がみられた。
- ・突風は比較的短時間（1～10分程度）であったという証言が複数得られた。
- ・突風は強雨またはひょうを伴っていたという証言が複数得られた。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約35m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

(根拠)

- ・ 仮設建築物の転倒、非住家の倒壊

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：水戸地方気象台 担当：船山・江崎
電話 029-224-1106